

令和7年 第1回 肝付町議会一般質問

順位	質問者	答弁者	用 件 (要 旨)
1	木村 實馬	町 長	<p>1. 資源活用と陸上養殖で自主財源確保を</p> <p>(1) 本町の自然資源の活用で小水力発電所を町で建設、運用する自主財源確保策について、今日まで政策提案してきた。今回は改めて小水力発電から生まれる電源を、高級魚の陸上養殖電源に活用した町の取り組みが出来ないか提案する。方式については3方式あるが、出来れば「閉鎖循環式」飼育で汚れた水をろ過・殺菌し、飼育水として再利用して、換水は少なく外部環境との接点が少ない養殖方式であるが、デメリットとして、電気使用量などのランニングコストが高額になるので、小水力発電源でサポートできれば優位性が確保できると考える。民間・関係機関との連携も視野に取り組みを進め自主財源確保に貢献できる取り組みを本町の重要政策として取り組むべきと考え、町長の見解を問う。</p>
2	富永 洋一	町 長	<p>1. 高齢者が安心して暮らし続けられる仕組みについて (施政方針)</p> <p>(1) 住み慣れた地域社会で高齢者が孤独や孤立を生まない体制整備をどう図るか。</p> <p>(2) 後期高齢者に対する支援体制が必要と考えるが。例えば、買い物難民等。</p> <p>(3) 高齢者の意見等、反映をどう考えているか。</p> <p>(4) 実現に向けての健全な財政基盤づくりをどう考えているか。</p> <p>(5) 肝付町の一人世帯は把握しているか。</p> <p>(6) 住民が主役の実現に向けて</p> <p>町 長</p> <p>2. 肝付町公共施設総合管理計画について</p> <p>(1) 施設の財源課題として、最低限必要な施設総量の目標値を定め施設総量削減の目標達成のため、統合、用途廃止等対応を図るとある。目標値は定めてあるのか。</p> <p>(2) 公共施設の昨年度、維持管理費はいくらか。</p> <p>(3) 利用されていない施設、利用度の少ない施設はいくらか。解体除却はどうなっているか。</p> <p>(4) 利用度の少ない施設の無償譲渡、売却等すべき。土地等早期な処分すべき。</p>

令和7年 第1回 肝付町議会一般質問

順位	質問者	答弁者	用 件 (要 旨)
3	前原 和幸	教育長	<p>1. 教育行政について</p> <p>(1) 令和6年4月に教育長に就任されて1年が過ぎようとしている。この1年にどのようなことに取り組みられてこられたのか、また、今後の教育方針について問う。</p> <p>① 昨年12月に、策定された「肝付町教育大綱」、本年4月から施行予定とのことである。その内容について問う。</p> <p>② 令和6年度の1年間の具体的な取り組みについて問う。</p> <p>③ 令和7年度の教育方針について問う。</p>
4	中原 稔	町 長	<p>1. 津波から弱者を救う対策を</p> <p>(1) 南方に整備されている南方避難タワーを車イスや足の不自由な人も避難できる様に改善出来ないか。</p> <p>(2) 独居老人や障がい者の避難誘導の体制は整っているか。</p>
5	柳 一夫	町 長	<p>1. 林業の振興について（施政方針）</p> <p>(1) 利用期に達したスギ・ヒノキ主伐急増を踏まえた森林環境譲与税を活用しながら、伐って、使って、植える、育てる、循環型林業を推進して行くこと述べられた。今の主伐状況と森林炭素マイレージ交付金等、今の山林の現状、状況と、これからについて問う。</p>
6	益山 二郎	町 長	<p>1. 猟友会について</p> <p>(1) 猟友会会員の高齢化が進んでいるが対策は</p> <p>(2) 害獣駆除に対する報奨金の見直しが必要と考える。狩猟期間も、被害が発生している場合は手当てを支給するべきではないか。</p> <p>(3) 猟友会の活動は趣味の範囲にとらえているのか。農作物の被害を減少したり、最悪の場合、人への被害も想定される。本町にとって貴重な方々だと思うが、新たな対応策を考えることはできないか。</p>